



2023年4月28日

各 位

会社名	株式会社 福井銀行
代表者	代表執行役頭取 長谷川 英一
会社名	株式会社 福邦銀行
代表者	代表取締役頭取 渡邊 健雄

Fプロジェクトの財務基盤強化および経営効率化の観点からの
有価証券運用のグループ一本化について

株式会社福井銀行（以下「福井銀行」という）と株式会社福邦銀行（以下「福邦銀行」という）は、福井銀行を親会社、福邦銀行を中核子会社とする企業集団「Fプロジェクト」の財務基盤強化及び経営効率化の観点から、2023年9月末を目処に福邦銀行における有価証券運用を終了し、福井銀行がグループ全体の有価証券運用を担うこととしましたのでお知らせします。

福井銀行と福邦銀行は、2021年10月1日の資本提携により、企業集団「Fプロジェクト」として「2ブランド営業」と「本部機能統合」の2つを軸に、両行の経営資源の適切な投下及び再配分を行い、お客さま向けサービスの強化を目指しております。

2022年4月にスタートした3年間の中期経営計画Iにおける4つの目標経営指標として「連結当期純利益40億円以上」「連結自己資本比率7.0%以上」「連結コアOHR77%以下」「連結ROE3.0%以上」を掲げ、連結ベースでの経営強化を目指しております。

上記のFプロジェクトの方針のもと、福邦銀行は、2022年4月からの3年間で「2ブランド営業」ビジネスモデルの構築 ～庶民銀行への原点回帰～ と位置づけ、地元中小零細企業への融資と本業支援、個人の生活支援において福邦銀行の強みを最大限発揮しつつ、グループ各社の機能も活用した営業を展開することを基本方針としております。

そして、そのために必要となる「経営資源の選択と集中」のテーマのひとつとして、「有価証券運用に依存しない体質づくり」を掲げ、有価証券運用部門のあり方を福井銀行との間で検討してまいりました。

今般、企業集団「Fプロジェクト」としてのグループ全体の財務基盤強化及び経営効率化の観点から、福邦銀行が現在行っている有価証券運用について2023年9月末を目処に終了することとし、福井銀行がグループ全体の有価証券運用を担うこととしました。

福邦銀行の従来のビジネスモデルから有価証券運用にかかるリスクを切り離し、財務基盤の安定化を図りつつ、福邦銀行のビジネスモデル構築が進むようグループ経営をいっそう強化させます。

2024年3月期においては、福邦銀行が進める中小企業向け貸出増強に基づく貸出金利息増加などにより財務基盤は安定する見通しであります。

福邦銀行の有価証券の状況

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末 (予定)
有価証券の貸借対照表計上額	625	89	-
有価証券の評価差額	3	6	-

2021年10月1日の資本提携後、福井銀行と福邦銀行は経営資源の適切な投下と再配分の具体的取組みとして、Branch in Branch（店舗内店舗）、Bank in Bank（実施例：両行の小松支店や金沢支店）、ATMの共同化なども進めております。

今回のFプロジェクトとしての有価証券運用一本化も含めて、グループ内の経営資源の選択と集中を加速させ、地域やお客さまへのサービス向上とも両立させながら、2022年4月からスタートしている10年間の長期ビジョン「Fプロジェクト Vision 2032」に掲げる地域価値循環モデルの実現に取り組んでまいります。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

福井銀行 経営管理チーム 北出 TEL 0776-25-8012

福邦銀行 経営企画チーム 野間 TEL 0776-25-5104